

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム (2016年) | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | (仮称) 錦通桑名町ビル | 階数 | 地上13階 地下1階 |
| 建設地 | 名古屋市中区錦二丁目1501、1515 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火地域 | 平均居住人員 | 2,900 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 2,700 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所、工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2025年10月 予定 | 評価の実施日 | 2023年8月28日 |
| 敷地面積 | 2,442 m ² | 作成者 | |
| 建築面積 | 1,849 m ² | 確認日 | 2023年8月28日 |
| 延床面積 | 25,811 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値: 62%
②建築物の取組み: 62%
③上記②以外のオンサイト手法: 62%
④上記+オフサイト手法: 62%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.7

LR のスコア = 4.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 4.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|--|---|
| 総合 | その他 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギーと環境に配慮したスマートウェルネスオフィス。 CASBEEウェルネスオフィス：Sランクの取得。 ZEB Orientedの取得。 | | |
| <h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 遮音、吸音に配慮。 外皮性能、ゾーン別空調、温度・気流差に配慮。 照度500lx。 ☆☆☆材料の使用、換気量確保、給気口と排気口の間隔に配慮。 | <h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> 高度通信機器対応。 天井高確保、リフレッシュベース、内装計画に配慮。 内外装防汚仕上、掃除用流し、共用部からの維持管理に配慮。 耐震性、基準法1.25倍、内装仕上、設備機器更新性等に配慮。 階高、空間、荷重のゆとりを確保。 | <h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 外構緑化、屋上緑化。 街並みへの調和、植栽による良好な環境の創出。 ピロティ、退避施設の設置。 排熱機器の屋上への設置。 |
| <h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> BPI=0.81、BEI=0.50 Low-E銀2層ガラス、高効率設備機器の採用。 自然換気スリットの設置。 | <h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 節水型便器、雨水利用。 リサイクル材の使用、躯体と仕上の容易な分別。 有害物質を含まない材料、フロン・ハロンの回避。 | <h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> CO₂低排出率、雨水流出抑制、交通負荷低減に配慮。 燃焼機器を使用しない。 光害の抑制。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)錦通桑名町ビル

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

| 重点項目 | | 評価 | 全体に対する重み係数 | 重点項目スコア |
|-----------------|-----------------|-----|-------------|------------|
| 1. 温暖化対策 | | | | 4.4 |
| LR1 | エネルギー | 4.6 | 0.4 | / |
| LR3.1 | 地球温暖化への配慮 | 4.5 | 0.1 | |
| LR3.2.2 | 温熱環境悪化の改善 | 3.0 | 0.05 | |
| 2. 自然共生 | | | | 3.4 |
| Q3.1 | 生物環境の保全と創出 | 3.0 | 0.09347058 | / |
| Q3.3.1 | 地域性への配慮、快適性の向上 | 有 | 0.009347058 | |
| Q3.2 | まちなみ・景観への配慮 | | | |
| Q3.3.2 | 敷地内温熱環境の向上 | 4.0 | 0.04673529 | |
| 3. 循環型社会 | | | | 4.3 |
| LR2.1 | 水資源保護 | 3.8 | 0.06 | / |
| LR2.2 | 非再生性資源の使用量削減 | 4.6 | 0.18 | |
| LR3.2.3 | 地域インフラへの負荷抑制 ※2 | 3.3 | 0.01875 | |

結果

| | |
|-----------------|-----------|
| 1. 温暖化対策 | 評価点 = 4.4 |
| | |
| 2. 自然共生 | 評価点 = 3.4 |
| | |
| 3. 循環型社会 | 評価点 = 4.3 |
| | |

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。